

令和6年度 不祥事根絶のための行動計画

行動計画 【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

使命	私たちは、子どもを守り、育てます。
遵法	私たちは、法令を遵守します。
公正	私たちは、不祥事を許しません。
公開	私たちは、地域に開かれた学校にします。

三次市立川地中学校

作成責任者 三好 春文

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○当事者意識をさらに高め、より高い危機管理意識を維持するためのサービス研修の在り方の工夫。 ○職員全員が講師となる研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果を実感できるようにする。 ○日常的に情報を全教職員で共有するとともに教育公務員としての自覚ある言動を常に意識する。 ○計画的にサービス規律研修を実施するとともに、できるだけ多くの教職員が担当する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての教職員を対象に参加型のサービス研修を行い自分事となる研修を行う。 ○常に最悪を想定する研修を実施する。 ○職員朝会で情報を全教職員で共有するとともに、通知等を確実に伝達するとともに、研修プリントを作成しタイムリーな研修を実施する。 ○サービス規律研修計画を立案し、担当者を指定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎朝、職員朝会プリントを作成する。 ○研修記録を作成し、市教委に報告する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○組織としての不祥事防止体制の強化。 ○高い危機意識を持った職務遂行。 ○職員間のコミュニケーションのさらなる活性化。 ○見逃し、見過ごし、見送りの防止 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 ○割れ窓理論を意識し、不祥事を許さない職場環境づくりを行う。 ○非常勤職員との報告・連絡・相談体制を充実する。 ○考えや思いが出せる職場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○企画委員会で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○不祥事防止行動チェックシートを活用し、教職員の実態把握を行う。 ○非常勤職員に研修資料等を配布するとともに、日々のコミュニケーションを大切にする。 ○面談の機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○週に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 ○学期に1回不祥事防止行動チェックシートを活用し確認する。 ○企画委員会・職員研修等で状況確認をする。 ○学期に1回以上の面談
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口の周知及び、相談しやすい体制づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、各種ハラスメント・障害などを理由とする差別についての相談窓口」の周知を繰り返し行うとともに、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末に生徒・保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。